



学校教育目標：笑顔いっぱい 楽しく学ぶ 鍋島っ子の育成

なべしまっ子

学校便り 10号
令和8年2月3日
児童数 721名
文責 井原 竹始

言葉づかいについて～ちくちく言葉をなくそう～

学校では、ぽかぽか言葉をつかって、誰もが気持ちよく生活できるようにしていこうと取り組んでいます。「ありがとう」「頑張っているね」「すごいね」「大丈夫」「一緒にやろう」などの言葉を掛けられると、温かい気持ちになります。多くの子供たちがそんな言葉をつかっていこうと意識をしてくれています。

しかし、「ばか」「死ね」「きもい」「だまれ」等、ちくちく言葉（友達を傷つける言葉）を言ってしまい、友達とトラブルになっている子供もいます。ちくちく言葉は、相手を傷付け、不快な気持ちにさせることを学校では繰り返し話をし、つかわないように指導しています。嫌なことがあってちくちく言葉をつかっている子供もありますが、ちくちく言葉と認識せずに普通の会話の中でつかっている子供もいます。

どの言葉がちくちく言葉か、その場で気付かせることがとても大切です。学校だけではなく、家庭でもちくちく言葉に対するアンテナを立ててもらい、ちくちく言葉をつかった場合は、その場で指導していただけますと助かります。学校と家庭が連携しながら、ちくちく言葉をなくしていきましょう。

自分の生き方や今後の人生について学びました



1月23日（金）に、6年生は、ホスピスの会の皆さん（6名）を講師に招き、自分の生き方や今後の人生について考える学習を行いました。子供たちは、ライフライン図を描きながら、自身の12年間を振り返るとともに、これから自分の人生を予想し、将来に思いをはせていました。そして自分が何歳まで生きるか、生きたいかを考え、きっとこんな嬉しいことがあるだろう、苦しいことがあるかもしれない、きっと幸せになっている、親の死で悲しむんだろうなど一人一人が自分の人生について考えました。「過去の失敗は変えられないけれど、未来は変えられる」という言葉に後押しされ、一生懸命に考えている姿が印象的でした。これから新たな中学生というステージに向かう子供たちにとって、今後を考える良い機会になったと思います。また、命の有限性、連続性、偶然性、必要性についても考え、命を大切にしてこうと改めて考えることができたようです。

最後は、体育館に全員が集まり、座禅を体験し、心を落ち着かせ学習を終えました。

子供たちの感想を紹介します。

○自分の将来、生き方について深く考えるきっかけになりました。

○今まで自分が何歳まで生きるか考えたこともなかったけど、人生は一度きりなので後悔しないように頑張ろうと思いました。

- 命は限りある大切なことで、自分も相手も守らなければいけないと分かりました。「命のつながり」がなくなりないようにバトンをつないでいきたいです。
- これから先どう生きるか、命とは何かを知れて、新しい自分に出会うことができました。
- 今日初めて、これまで、これからについて考えることができました。これから的人生どうなっていくかは分からぬけど、どんな時も前向きに生きていこうと思います。
- みんないろいろな人生の生き方を想像していて、とても面白かったです。教えてくださった「命の定義」の内容をしっかりと、ずっと覚えていたいです。
- これから的人生は後悔をしないように自由にいきたい。同じ時間を過ごしていてもそれぞれライフライン図は違っていて、それぞれの人生があるということが分かった。命の連続性など覚えておきたい。
- 命の大切さ、将来の夢をもつことのよさがよく分かりました。ライフライン図通りの将来になるかは分からぬけど、これから的人生を楽しみたいと思います。
- 今までのことを振り返って、いろいろなこと思い出したり、未来のことを考えることができたりして、いい時間となりました。みんなで話し合えてよかったです。
- ライフライン図をかいて、私の12年間はどれくらいの幸福度かが改めて分かりました。生き方の授業を通して学んだことをこれから的生活に生かしていきたいと思います。

授業参観ありがとうございました

1月22日（木）に授業参観を行いました。平日の授業参観でしたが、今年度最後ということもあり、本当に多くの保護者の方に来校していただきました。ありがとうございました。保護者の皆さんのが真剣に、また嬉しそうに子供たちの様子を見られていたのが印象的でした。子供たちの学習ぶりはどうだったでしょうか。私も授業の様子を見て回ったのですが、子供たちは集中して学習に取り組むことができていたと思います。1年生は、学校歯科医の先生による歯磨き指導がついていました。他学年は、タブレットを使って意見をまとめている、道徳の授業で考えを交流している、保護者と一緒に考えている、自分が調べたことを堂々と発表している・・・様々でしたが、子供たちの表情がとてもよかったです。保護者の皆さんに来てもらい、嬉しくて子供たちも張り切っていたようです。



今学年は、残り少なくなってきた、子供たちが自信をもって進級できるように学習指導を続けていきます。ご家庭でも、学年のまとめであることを話していただき、頑張る子供たちを励ましてください。

バルーン係留体験

2月2日（月）に、バルーン係留体験がありました。当日は風もなく、絶好のバルーン日和となりました。朝早くから子供たちが体験できるように準備をしていただき、感謝です。登校してくる子供たちは準備されている様子を見て、校門に立っている私に「今日バルーンに乗れるんだよね」と確認し、「乗れそうだね」と答えると満面の笑みを浮かべていました。前回の1年生から3年生は、途中から風が出てきて、バーナー体験に変わった学級もありましたが、今回は4年生から6年生全員が係留体験をすることことができました。



バルーンが飛んでいるのを見慣れている子供たちでも、バルーンに乗るのはやはり特別な体験のようでした。「初めて乗ったけど、結構高かった」「上からの眺めがよかったです」「バーナーの音がすごかった」「今度は係留ではなくて、空を飛んでみたい」など様々な感想を述べていました。